

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 98 号	氏名	安達 耕一
学位審査委員	主査 青柳 潔	副査 河野 茂	副査 平野 明喜
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、材質の異なる生体材料表面に形成される黄色ブドウ球菌バイオフィルムの形成量を経時的に評価検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ステンレスおよびチタン製ワッシャーにバイオフィルムを形成させ、占拠率の経時的解析と抗菌薬の影響を評価しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、バイオフィルムの占拠率はステンレス製の方がチタン製より有意に大きくなること、および臨床株により形成させたバイオフィルムは薬剤抵抗性であることを示し、今後の骨関節感染症研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は臨床微生物学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			